

## 令和元年度 水稻害虫トラップ情報（7月上旬）

### 1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでは、現在第1世代が誘殺されており、誘殺数は津軽地域では平年並～やや多く、県南地域ではほぼ平年並に推移しています。

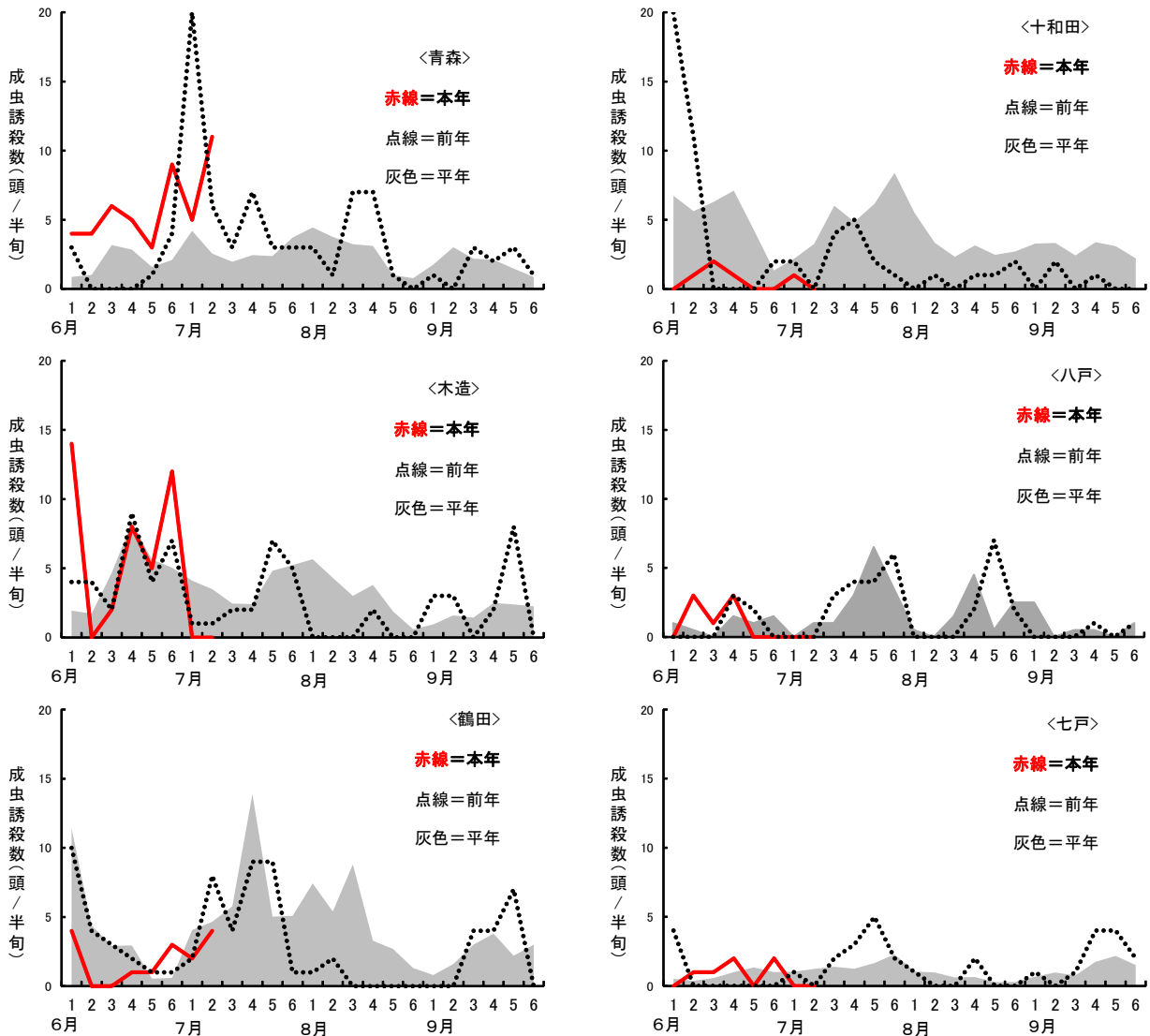


図1 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森9年、木造7年、鶴田5年、十和田10年、七戸10年、八戸3年の平均値

(2) 予察灯での第1世代の誘殺数は、気温が低く推移しており、木造で7月1日にまとまった誘殺があったものの、平年より少ない状況です。今後気温が回復すると誘殺数が増加し、7月中下旬に最盛期となると考えられます。

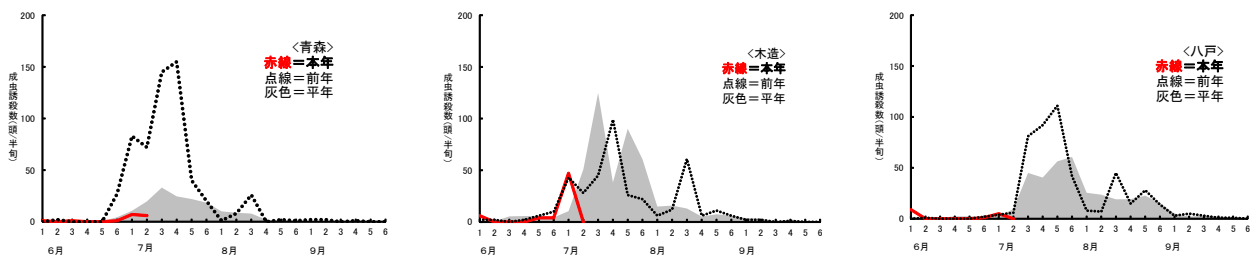


図2 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数

## 2 アカスジカスミカメ（畦畔）

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでの誘殺数は、青森では6月前半に平年より多い誘殺がありました。他の地点ではほとんど誘殺されていません。

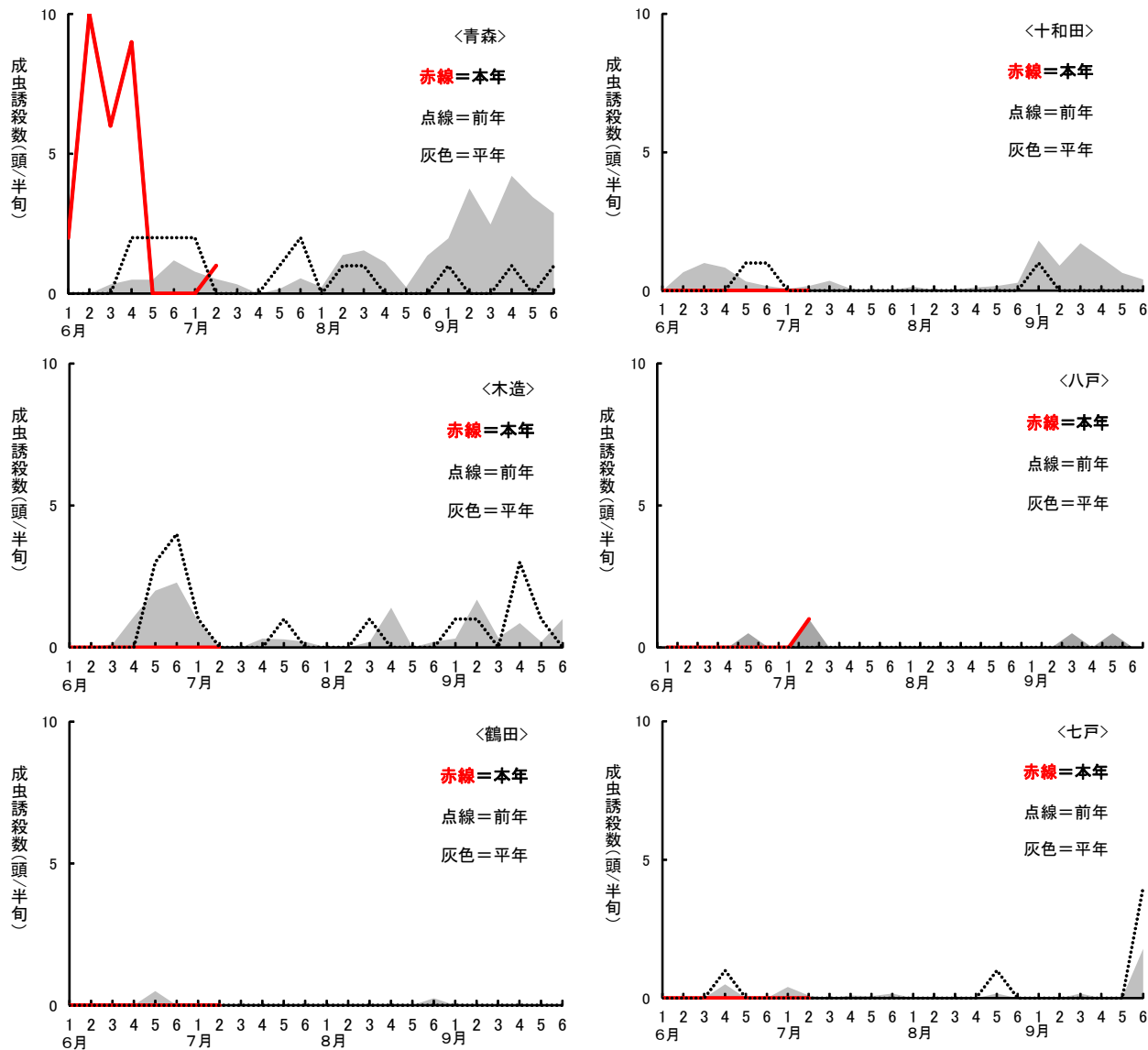


図3 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森6年、木造5年、鶴田4年、十和田6年、七戸6年、八戸3年の平均

(2) 予察灯では、第1世代と考えられる誘殺が、津軽地域では平年より早い6月下旬から見られ、青森、木造の誘殺数は平年並~やや少ない状況です。八戸でははこれまでのところ誘殺されていません。

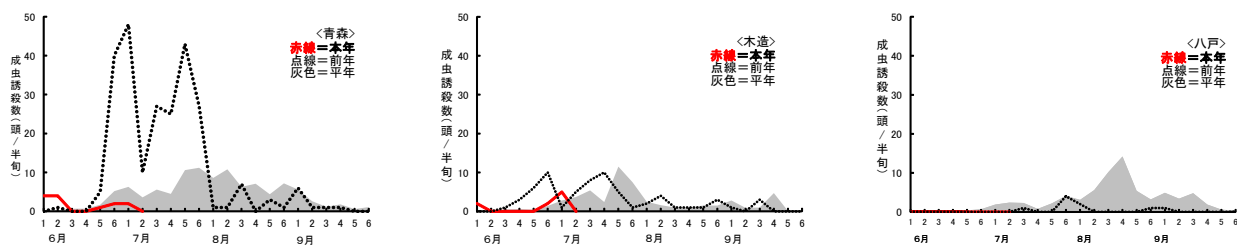


図4 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

### 3 フタオビコヤガ

(1) 性フェロモントラップによる第1世代の誘殺時期は6月下旬～7月上旬で、誘殺数は津軽地域で平年より多く、県南地域ではほぼ平年並に推移しています。

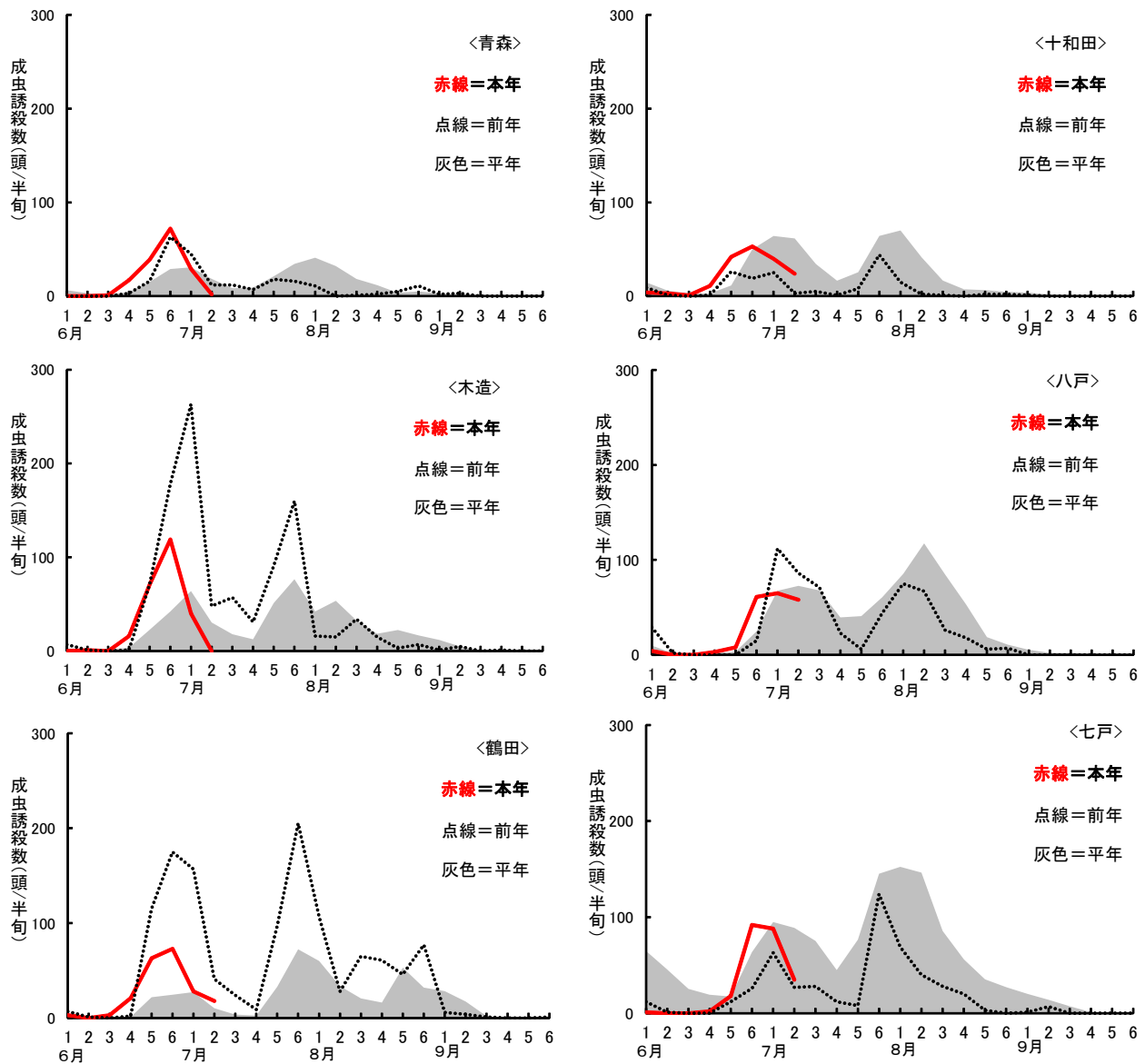


図5 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

(2) 予察灯での第1世代の誘殺は、性フェロモントラップと同様に6月下旬～7月上旬にみられ、誘殺数は津軽地域は平年並、八戸は平年より少なく推移しています。

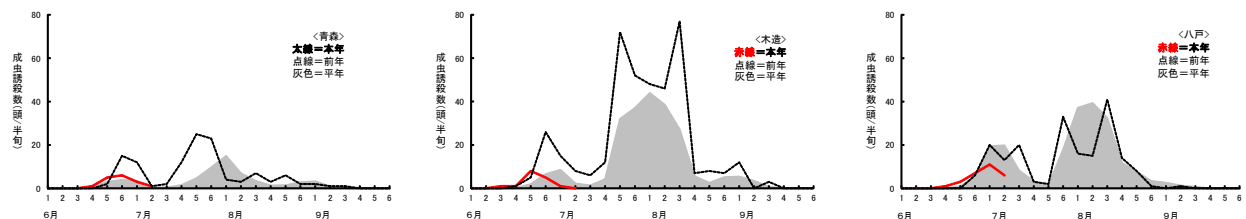


図6 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第2問屋町4-11-6

TEL:017-729-1717 FAX:017-729-1901 担当:総括主幹 市田忠夫